

(1) 新 DCTP 会議活動報告

座 長 水 野 裕 央
幹 事 長 横 山 明 正

◇活動の概要

当会議（DCTPとは、「Dreams Come True Project」の略です）は、昨年度に引続き、人口減少問題等を踏まえた「20年後の山梨のあるべき姿」の新たな提言に向け、検討・作業を進めて参りました。

具体的には、20年後の山梨のあるべき姿を展望し、「やまなしグランドデザイン」として起案し、昨年度の常任幹事会での説明後、座長の各種講演の中で、県内の企業経営者、経済団体関係者のご意見を踏まえ、適宜修正を繰り返してきました。その「やまなしグランドデザイン」を2022年6月に会員へご説明し議論を深めるとともに、今後進化させる新しい委員会への検討材料を提供してきたところです。

また、地域の活性化を展望すると、デジタル化の流れに上手く乗り、生産性の向上や新しい価値の創造に繋げていくことが重要なことから、最新のICTの勉強会を日本の主要なシステムベンダーである株式会社日立製作所にご尽力を頂き、勉強会を開催しました。

なお、幹部会については、感染症の拡大の状況を踏まえ、電話やメールなどによるやりとりとし、対面を控えて運営してきました。

◇活動実績報告

- 時事寸評へ「感染症の時代」を寄稿（2021.10.22）
- 株式会社NTTデータテクノロジーカンファレンス 2021 を会員へ情宣のうえ適宜聴講（2021.10.27～10.29 オンライン）
- 株式会社NTTイノベーションカンファレンス 2022 を会員へ情宣のうえ適宜聴講（2022.1.27～1.28 オンライン）
- ICTに関する勉強会（2022.4.25 講師：株式会社日立製作所、古名屋ホテル）を開催し、81名の会員が参加。

- ・株式会社日立製作所への打診・問題意識の伝達・テーマの擦り合わせ（複数回）
- ・株式会社日立製作所との勉強会の擦り合わせ第1回（オンライン、2021.11.29）
- ・株式会社日立製作所との勉強会の擦り合わせ第2回（オンライン、2022.1.28）
- ・株式会社日立製作所との勉強会の擦り合わせ第3回（電話、2022.4.20）
- ・ICTに関する勉強会（2022.4.25 講師：株式会社日立製作所、古名屋ホテル）
—— 感染症の状況に鑑み、会場の感染防止対策に万全を尽くし、対面で開催。

テーマ：「経営に求められるデジタルトランスフォーメーション(DX)」

講師：(株)日立製作所 金融システム営業統括本部 シニアエバンジェリスト

長 稔也 様

サポート：(株)日立製作所 金融システム営業統括本部 金融営業第二本部部長代理
竹村仁人 様

内容：

1. デジタルトランスフォーメーション推進に向けてのポイント
 2. Society5.0 と SDG s への対応
 3. D Xに向けて 5 G時代に考えるべきこと
 4. I o Tの活用の進展
 5. 異業種連携によるビジネスの拡大
 6. セキュリティ/認証の強化と利便性の向上
 7. ビッグデータ/ 人工知能の活用
 8. 地域活性化/高齢化社会への対応
 9. E S G投資の拡大への対応
- ・欠席者等のための勉強会の模様の事後配信（Web、2022.5.9～5.22）
—— NTT 東日本山梨支店がテクニカルサポート。



（2022.4.25 I C Tに関する勉強会：講師 長 稔也 様）

■ 「やまなしグランドデザイン」の勉強会（2022.6.6 講師：日本銀行甲府支店長、古名屋ホテル）

・「やまなしグランドデザイン」について、水野日本銀行甲府支店長が講師となり、勉強会を開催し、出席会員（42 名）へ説明（2022.6.6 古名屋ホテル）。その後、懇親会を開催。

内容：

1. 環境認識
2. 感染症が与えた教訓

3. 地域経済を巡る環境変化

4. 山梨の経済の将来に向けて（何を高めるか）

- ・稼ぐ力の向上（産業構造の強化・変革、新規創業の必要性）
- ・人材の確保と教育
- ・交通インフラやデジタル・技術の進化
- ・一段と魅力的な山梨県の可能性
- ・残された課題と戦略・視点
- ・イメージ戦略・マーケティング戦略
- ・資金調達手段の多様化



（2022.6.6 「やまなしグランドデザイン」の勉強会：講師 日本銀行甲府支店長）

◇今後の活動方針

今後は、新しい委員会に生まれ変わったうえで、同委員会において、山梨県の状況把握、課題の整理、今後の可能性を議論のうえ、2023 年秋を目途に提言を実施していく予定。

以 上